

櫻坂を緩歩中

第3回進路希望調査より、気になったこと ～自己推薦受検を希望する理由～

第3回進路希望調査へのご協力ありがとうございました。3年生全員分の進路希望先をコンピュータ入力するとともに目を通していただきました。

その際、1つ気になったことがあります。それは、「自己推薦受検を希望する理由」です。

自己推薦入試は、生徒自身が志望校の「入学者の受入れに関する方針等」や「スクール・ポリシー」に合致していると判断したならば出願できる制度であり、出願に際し中学校側で助言することはあっても、反対したりできるものではありません。

しかし、今回の調査で自己推薦受検を希望する理由として下記のような記載をしていた生徒がいました。

・受検のチャンスが（2度に）増えるので、自己推薦受検を希望します。

この表記について考えてみましょう。

自己推薦書には、自分のどういった点が「入学者の受入れに関する方針等」や「スクール・ポリシー」に合致しているかなどを自分で考え、自分の力で書くものです。

来春入試用の「自己推薦書」は、まだ公開されていませんが、今春（昨年度）の全日制課程受検者用の内容は下記の通りでした。

- 1 入学を志望する理由や抱負について（この学校に入学したい理由や入学してから自分がしたいと思うことなどについて、この学校のスクール・ポリシーを踏まえて記入してください。）
- 2 中学校の各教科（選択教科を含む）や総合的な学習の時間における学習について（中学校で学習したことについて、自分が特にアピールしたいことを具体的に記入してください。）
- 3 中学校在学中における学校内外の諸活動について（中学校生活の中で、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、ボランティア活動、取得した資格や検定結果、その他の活動等を通して学んだこと、自分が特にアピールしたいことなどを具体的に記入してください。）

第4回進路希望調査用紙では自己推薦受検にするか否かについて、よく考えて判断してください。また、希望する場合は、自分のどの部分が「入学者の受入れに関する方針等」や「スクール・ポリシー」に合致しているかがわかるように記入してください。

●「自己推薦書」の作成について

今春（昨年度）の「自己推薦書」の下部にある注意事項欄に次の記載がありました。

出願者が記入、作成してください。なお、「出願者署名」の欄以外についてはパソコンにより入力し、印刷してもよいですが、欄の大きさを変更しないでください。…

つまり、「自己推薦書」は手書き、パソコンのどちらでも構いません。

しかし、過去の（本校）卒業生多くは手書きで作成しておりました。（「手書きにきなさい。」といった指導は一切しておりません。）また、過去の（本校）卒業生のデータでは、手書きした生徒の方がパソコン入力した生徒よりもはるかに合格内定率が高いデータでした。

「手書き」と「合格内定」の間に因果関係はないと思いますが、手書きする生徒の方が、パソコン入力する生徒よりも、「合格内定したい。」という気持ちがより強く、その気持ちが面接などにもあらわれているのだと分析します。

【東海大学付属札幌高等学校】＝学校公開（対象＝中学生、保護者）

本日、東海大学付属札幌高校からいただいたプリントを３年生全員に配布しました。
プリントには、１１月８日（土）に開催される学校公開について記されております。

学校公開の参加希望者はプリントのＱＲコードから申し込みください。

（中学校への連絡は不要です。）

@coffee break 合格電報

昭和３０年代から平成初期にかけて大学の合否を電報を用いて知ることのできる時代がありました。私も利用した経験がありますが、大学入試が終わった後、業者（大学生のアルバイト？と思われる方）に先払いでお金を支払っておくと、受験生の代わりに受験番号から合否を確認し、電報を打ってくれるサービスでした。さて、下の電報文はどこの大学の合格（不合格）電報でしょうか？

- | | |
|--------------------|--------------|
| ① 合格：エルムは招く | 不合格：津軽海峡 波高し |
| ② 合格：赤門開く | 不合格：イチョウ散る |
| ③ 合格：稲穂実る | 不合格：稲穂散る |
| ④ 合格：鯨が釣れた | 不合格：鯨潮吹く |
| ⑤ 合格：みちのくの春来たる | 不合格：津軽の雪深し |
| ⑥ 合格：房総の海は春を告げ君を待つ | 不合格：成田空港 霧深し |
| ⑦ 合格：天平の薨（いらか） 輝く | 不合格：大仏の目に涙 |

解答 ①北海道大学 ②東京大学 ③早稲田大学 ④高知大学 ⑤弘前大学 ⑥千葉大学 ⑦奈良教育大学